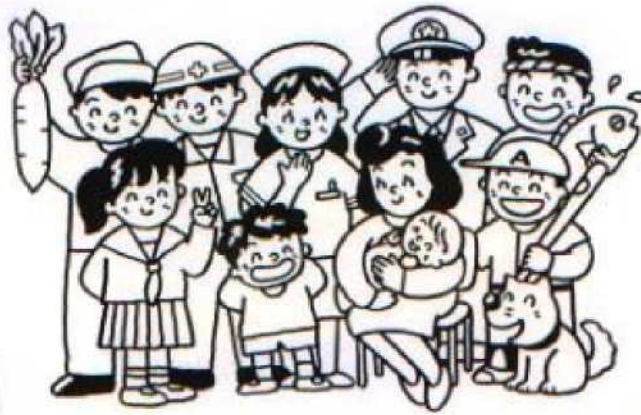


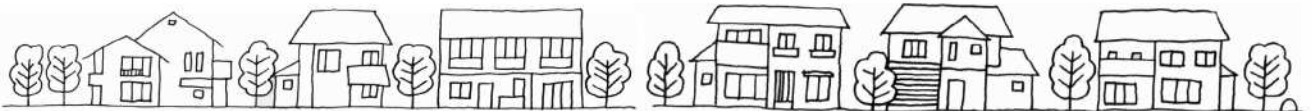
うるおいのあるまち川崎西部

まちづくりアクションプラン



平成16年3月

川崎西部まちづくりクラブ



◆川崎西部地域◆

小川町 南町 日進町 下並木 堤根 池田1・2丁目
元木1・2丁目 京町1・2丁目 貝塚1・2丁目



川崎西部地域は…

川崎区内で最も西に位置する地域です。川崎市幸区、横浜市鶴見区と隣接し、地域の北東端には市の玄関口とも言えるJR川崎駅の東口があります。歴史ある旧東海道川崎宿の一部やラ・チッタデラなどの大型商業区域があると同時に、交通面でも京浜急行八丁畷駅、国道15号線などの地域幹線を抱えています。

京町セゾールやサンスクウェアなどの大型集合住宅もあり、比較的新しい地域住民も増えている地域です。



まえがき

川崎西部まちづくりクラブでは、平成 15 年度の一年間をかけて川崎西部地域の理想の将来像とそれを実現するためのアクションづくりについて話し合いをしましてまいりました。その結果をまとめたものが、この「うるおいのあるまち川崎西部まちづくりアクションプラン」です。

毎月 1 回の会合のほか、地域住民にも参加を呼びかけて「川崎西部地域タウンウォッチング」や「川崎西部まちづくりフォーラム」を開催する中で、まちづくりの輪も少しずつ広がってきました。

活動に参加し、頼もしい意見を聞かせてくれた地元の小中学生の子どもたちが大人になる時に、このプランに示された将来像を実現するため、平成 16 年度はいよいよ動き出す年になります。川崎西部の地域住民パワーが試されるのはこれからです！みんなで力を合わせ理想のまちをつくりあげましょう。

川崎西部まちづくりクラブ世話人 篠原倫彦

目次

1.	こんな川崎西部にしたい！	
	川崎西部 4 つのビジョン	2
	川崎西部未来マップ	3
2.	ビジョン実現のための 17 のアクション	5
1)	人にやさしいまちなみ	
	① 川崎駅周辺をバリアフリーにする	6
	② 地域幹線を改善する	7
	③ 八丁畷駅周辺を改善する	8
	④ 東西バスルートを確立する	9
	⑤ 開かずの踏切を改善する	10
	⑥ 地域内の歩道の快適性を高める	11
	⑦ 地域独自の自転車駐輪対策を行う	12
2)	つくろう緑の憩いの場	
	⑧ 緑の 2 大資源（ルフロン公園・京町緑道）を活かす	13
	⑨ 地域公園の魅力アップ運動を展開する	14
	⑩ 地域内の空地を有効活用する	15
3)	川崎西部魅力アップ	
	⑪ 東海道川崎宿の歴史を活かす	16
	⑫ 川崎西部・地域自慢を掘り起こす	17
	⑬ 川崎西部地域 PR キャンペーンを行う	18
4)	共に支えあう地域づくり	
	⑭ 川崎西部地域便利マップをつくる	19
	⑮ 支えあいのネットワークをつくる	20
	⑯ 地域モラルを高め、市民意識を育てる	21
	⑰ 防犯・防災で安全・安心な地域をつくる	22
3.	未来像実現へむけて	
1)	大切にしよう！未来の主役 子どもたちの声と参加	23
2)	実現へむけての体制づくり	25
4.	資料編	
	1) 策定までの流れ	27
	2) 各町会の良いところ、悪いところ	27
	3) 川崎西部地域タウンウォッチング	30
	4) 川崎西部まちづくりフォーラム	33

1. こんな川崎西部にしたい

4つのビジョン

1 人にやさしいまちなみ

バリアフリー化や交通網改善、違法駐車・
駐輪対策などで歩行者にやさしいまちなみ
をつくる



2 つくろう緑の憩いの場

地域による緑化や公園活用を推進し、
憩いの場を増やす



3 川崎西部魅力アップ

地域の歴史や魅力を再認識し、住んでいる
ことに誇りをもてる地域愛を育てる



4 共に支えあう地域

安全・安心に住める地域を共に支えあうこと
で実現する



川崎西部未来マップ

川崎駅周辺 はバリアフリーで誰もが使いやすい空間になる。駐輪問題も新たな駐輪場整備や利用状況に応じた施策で解決。

堤根の踏切
歩道・車道が立体化され、スムーズな線路の横断が可能に。

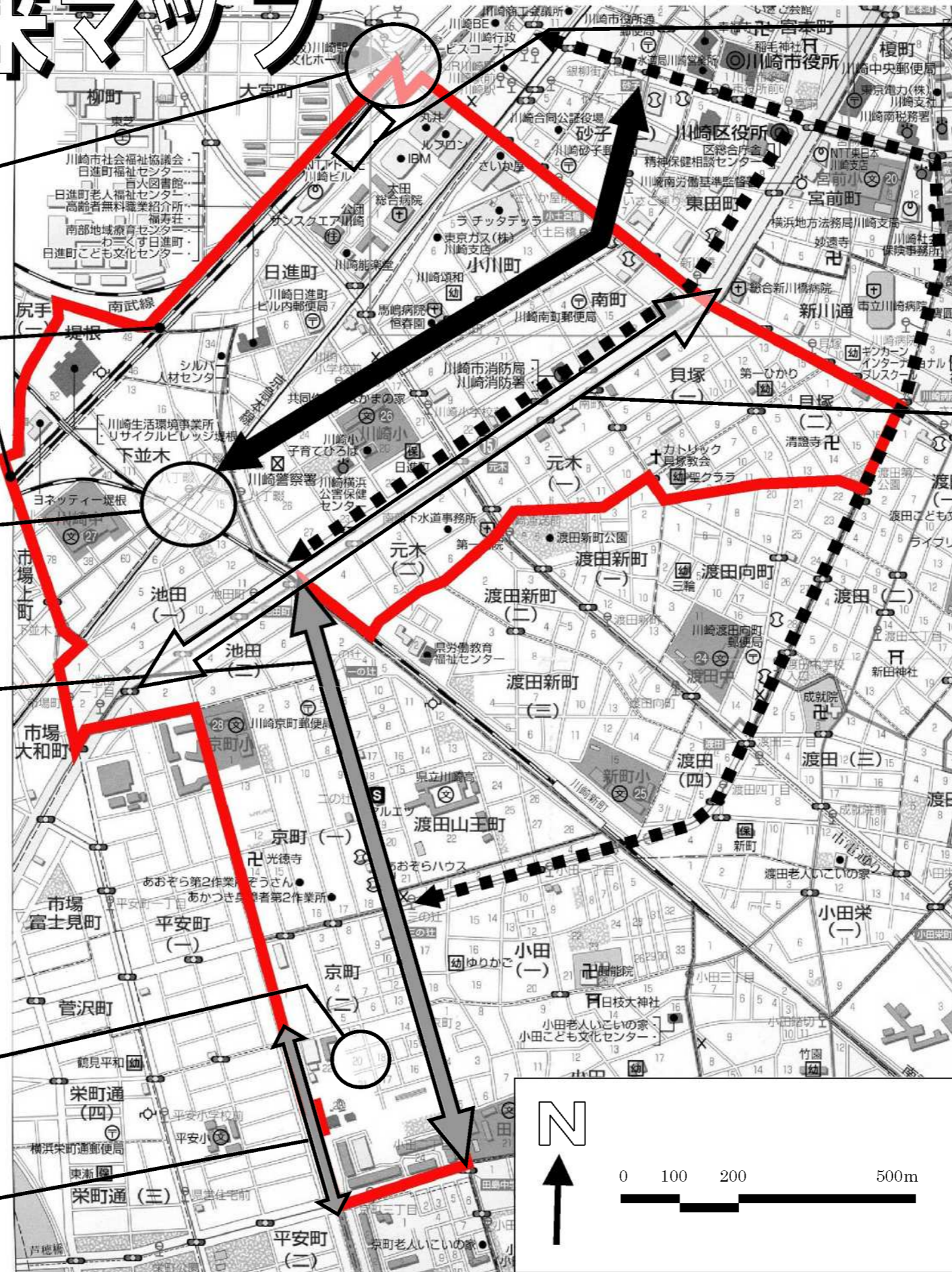
八丁畷駅周辺
複雑な交通環境が改善され、安全に歩けるきれいな駅前に。

地域幹線② 池田浅田町線（京町通り）
歩道が拡幅され、地域住民による美化活動も進み、歩行者、車椅子が安心・安全に通行。


東西横断バスルート
東西横断バスルートが整備され、京町などの地域から区役所などの公共施設に直接アクセスが可能に

雨水滞水池・ポンプ場
広大な空地が有効活用され、地域みんなが集まるイベントなども開催。

緑の2大資源②京町緑道



緑の2大資源①
ルフロン公園

旧東海道 
歴史を活かしたまちづくりがすすみ、多くの客が訪れる観光スポットに。

地域幹線① 国道15号線
ゴミのポイ捨てもなく、よく手入れされた植込みや歩道に

4つのビジョンが実現！

人にやさしいまちなみ

たくさんの緑の憩いの場

魅力溢れる川崎西部

共に支えあう地域

こんな物もできている！

川崎西部地域
便利マップ

川崎西部
地域自慢
辞典

川崎西部
地域ロゴ

川崎西部まちづくり
ネットワーク

2. ビジョン実現のための17のアクション

1

人にやさしいまちなみ

① 川崎駅周辺をバリアフリーにする

② 地域幹線を改善する

③ 八丁畷駅周辺を改善する

④ 東西バスルートを確立する

⑤ 開かずの踏切を改善する

⑥ 地域内の歩道の快適性を高める

⑦ 地域独自の自転車駐輪対策を行う

2

つくろう緑
の憩いの場

⑧ 緑の2大資源を(ルフロン公園・京町緑道)活かす

⑨ 地域公園の魅力アップ運動を展開する

⑩ 地域内の空地を有効活用する

3

川崎西部
魅力アップ

⑪ 東海道川崎宿の歴史を活かす

⑫ 川崎西部・地域自慢を掘り起こす

⑬ 川崎西部地域PRキャンペーンを行う

4

共に支えあう
地域づくり

⑭ 川崎西部地域便利マップをつくる

⑮ 支えあいのネットワークをつくる

⑯ 地域モラルを高め、市民意識を育てる

⑰ 防犯・防災で安全・安心な地域をつくる

1 人にやさしいまちなみ

アクション① 川崎駅周辺をバリアフリーにする

- ・ 川崎の玄関口でもある川崎駅周辺について、環境を浄化し、だれもが使いやすいバリアフリー化を進める。
- ・ 平成 14 年度に市に提出した、川崎駅周辺のバリアフリー化の要望書に示された内容の早期実現を要望する。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●川崎駅東口バス乗降所

- ・ 現在のバスターミナルは、一度地下に降りてから地上に上がらないとアクセスできない構造になっており、高齢者や車椅子使用者にとって非常にアクセスしにくい。
- ・ 現在のタクシー乗り場のスペースに、バスの停留所をもってこれないか。
- ・ バスの降車場を、より使いやすい場所へ移動することを検討してほしい。
- ・ バスの運行が少ない時間帯だけでも、地上でのバス停への平面横断を実現したい。平面横断の実験実施を行ってほしい。



- ・ まちづくりクラブのメンバーによる「川崎駅周辺バリアフリーワークショップ」(平成 14 年 10 月 29 日東京新聞掲載)

1 人にやさしいまちなみ

アクション② 地域幹線を改善する



- ・ 歩行者や車椅子が安心して通行できる歩道環境の整備を最優先とし、歩道と自転車道の区別化、バリアフリー化をはかる。
- ・ 地域の幹線道路、国道15号線と池田浅田町線（京町通り）を清潔で美しい道路にするため、植え込みや歩道の環境美化をはかる。
- ・ 歩道拡幅など既存計画の早期実現を要望する。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

● 国道15号線

- ・ 中央分離帯の植栽の管理が悪く、放置状態。雑草も多い。
- ・ 中央分離帯へのゴミの投棄が多い。
- ・ 歩道上に私物が山積みされている。
- ・ 歩道上の違法駐輪が多い。
- ・ 路上駐車が目立つ。
- ・ 元木交差点は歩道橋でなく自転車横断帯を横断する歩行者が多い。



・ 中央分離帯は植栽が放置され、ゴミも多い国道15号線

● 池田浅田町線（京町通り）

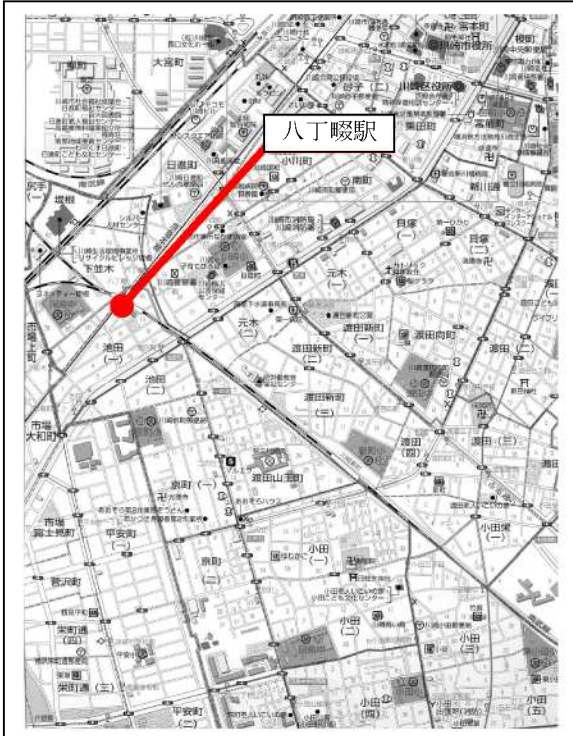
- ・ 歩道に商店の看板がせり出ている。
- ・ 植栽が歩道をさらに狭くしている。
- ・ 違法駐車が多発している。
- ・ 国道15号交差点で、車の突入事故が増加している。
- ・ 田島中付近に街路樹がなく、殺風景。
- ・ ルアン前は右側にも歩道がほしい。
- ・ 不二家付近の歩道に傾斜が見られる。障害物も多い。
- ・ セゾール付近の植込みの手入れが悪い。



・ 植栽や自転車が歩道を狭くしている京町通り

1 人にやさしいまちなみ

アクション③ 八丁畷駅周辺を改善する



- ・ 八丁畷駅周辺の入り組んだ交通動線環境の改善をはかる。特にバス通りの整備を要望する。
- ・ 安全に歩ける歩道の確保を目指し、住民による道路・動線の改善計画を作成し、行政に提出、要望する。



【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●八丁畷駅周辺

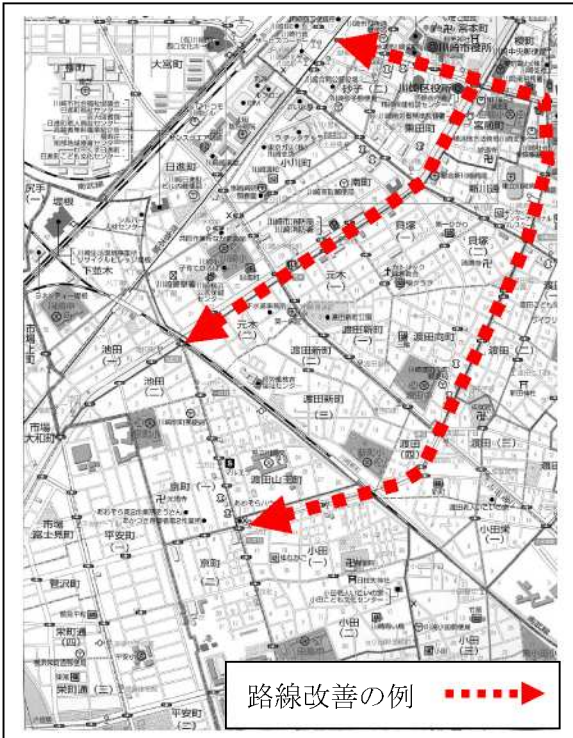
- ・ 踏切付近は歩道が非常に狭く、交通危険箇所である。
- ・ 交通動線を整理し、バス通りを整備することが必要である。
- ・ 朝の通勤・通学時間帯はいつも混雑する。歩道の狭い踏切は、渡るのが大変である。
- ・ 改札口付近には、花壇が沢山あって良い。



- ・ 踏切周辺は特に歩道が狭い八丁畷駅周辺

1 人にやさしいまちなみ

アクション④ 東西バスルートを確認する。



- ・ 川崎西部の各地域から、川崎駅を經由せず直接、区役所や市役所、教育文化会館等の公共施設にアクセスできるバスルート（地区横断路線）の確立を働きかける。
- ・ 路線改善の例：
川崎 27 番路線（日清製粉線）の新川橋通りを通過して「JR川崎駅」へ至るルートを改め、「市立病院前」を通過して、市役所通りを「教育文化会館」、「市役所・区役所」を經由しながら「JR川崎駅」へ至るルートとする。

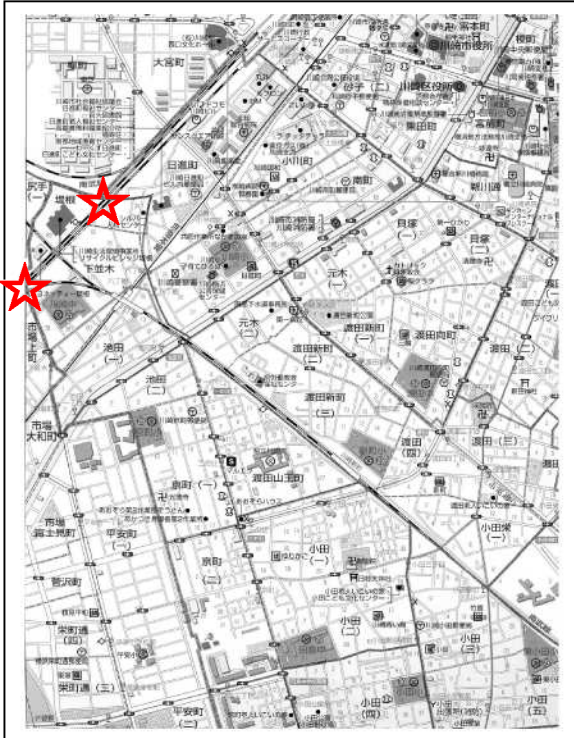
【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●バス路線

- ・ 西部地域を横断するバス路線が少ない。「さつき橋」から富士見方面へのバス路線が無いいため、区役所や市役所に行くには、一度川崎駅に出て、バスを乗り換えなければならない。
- ・ 川崎西部地域から大師地域方面への交通の便が悪い。
- ・ 始発バスの時間（5:45）をもっと早くし、羽田空港の始発飛行機に乗れる時間に設定してほしい。

1 人にやさしいまちなみ

アクション⑤ 開かずに踏切を改善する



- ・ 堤根地域の踏切は15分以上も開かないことがあるため、改良に働きかける。
- ・ 歩道幅の拡幅を要望する。
- ・ 線路と歩道、及び車道の立体交差化（高架化、又は地下化）を提案・要望する。



【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

● 堤根地域踏切

- ・ 堤根の踏切はなかなか開かず、交通渋滞発生の原因になっている。特に朝はひどい渋滞が発生する。
- ・ 踏切が開くまで15分以上待つ事があり、踏切を不法にくぐって渡ってしまう人も多い。
- ・ 踏切の歩道の幅がほとんどないため、歩行者は非常に危険である。



- ・ 歩道幅がほとんどない堤根の踏切

1 人にやさしいまちなみ

アクション⑥ 地域内の歩道の快適性を高める

- ・ 地域内の歩道を快適にするために、タウンウォッチングでも指摘の多かった狭い歩道や段差、不法駐車や駐輪、植栽内や路上のゴミなどについて住民による「歩道の快適性チェック活動」を行なう。
- ・ 「歩道の快適性チェック活動」で得られた情報を整理し、地元住民で歩道環境の改善に取り組む。

例：道路や植栽の清掃活動、バリアフリー化の要望活動、ゴミの投棄や駐輪などの不法行為を未然に防ぐパトロールや広報活動など

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●ラ・チッタデラ

- ・ レンガ舗装がゴツゴツしており、車椅子や乳母車が非常に通りにくい。

●八丁畷カリン並木

- ・ 不法駐車がが多く歩道を狭くしている。

●鶴見富士見道路（セソール付近）

- ・ 緑豊かな植栽がある。
- ・ 手入れも良く、模範的道路である。

●プール道路（通称）

- ・ 歩道橋付近にいつも空き缶などのゴミが散乱している。

●京町小学校付近

- ・ 不法駐車がが多い。
- ・ 街路樹下に雑草が多く、手入れされていない。

●京町商店街

- ・ バス通りの入口がデコボコである。
- ・ 商品が公道にはみ出している。



・ 八丁畷カリン並木の不法駐輪



・ 街路樹下の雑草（京町小学校付近）



・ 川崎中学校では、「ボランティアの日」に地域の道路の清掃活動を行っている

1 人にやさしいまちなみ

アクション⑦ 地域独自の自転車駐輪対策を行う

川崎駅周辺を中心とする不法駐輪対策の問題について、地域独自の対策を打ち出し、地元住民を中心に取り組む。

- ① あらたな駐輪場の整備を提案する
 - ・ 駐輪場があると良いと思われる場所を複数提示し、提案・要望する。
 - ・ 駐輪場の理想的な設備内容や、駐輪場運営方法についても言及する。
- ② 自転車利用の実態調査を行ない、利用状況に応じた対策の導入を目指す。
 - ・ 駐輪時間の短い利用者や高齢者や子ども連れの駐輪場所利用を優先する方策などを検討する。
 - ・ 駐輪場の有料化や、駅周辺商店との連携による駐輪サービス券導入など検討する。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●ハローガーデン前

- ・ せっかくの花壇が駐輪で見えないときがある。

●川崎駅周辺

- ・ ボランティアの導入もあり改善の傾向はあるが、まだ不法駐輪が多い。
- ・ 案内板や解説板に近づけないことがある。

●ラ・チッタデラの駐輪場

- ・ 専用駐輪場はよく整備されており、整理員も常駐していて理想的な環境である。

●その他駐輪問題について

- ・ 川崎駅周辺に新たな利用しやすい駐輪場の整備が必要である。線路脇 JR 所有地（木材置き場）、ルフロン前などが候補地として考えられる。（線路脇 JR 所有地には、現在 800 台分の有料駐輪場が整備される見通しである。）
- ・ 一日中駐輪している通勤者、通学者による不法駐輪が最も悪質であり、取り締まりを強化したい。
- ・ 子どもや荷物を抱える利用者は、可能な限り駅周辺の商業施設の近くに駐輪したい。駐輪時間も数十分と長くはないので、優遇措置がとれないか。
- ・ JR 錦糸町駅の駐輪場は地下という悪条件だが、ベルトコンベアーが整備され、駐輪場への移動が容易になっている。川崎駅付近に駐輪場を整備する際は参考にしたい。
- ・ ヨドバシカメラ前、小林整形前、不二家前などにも不法駐輪が多い。
- ・ 地域の大型商業店前などにも駐輪が多く、歩行者の通行を妨げている例が見られる。



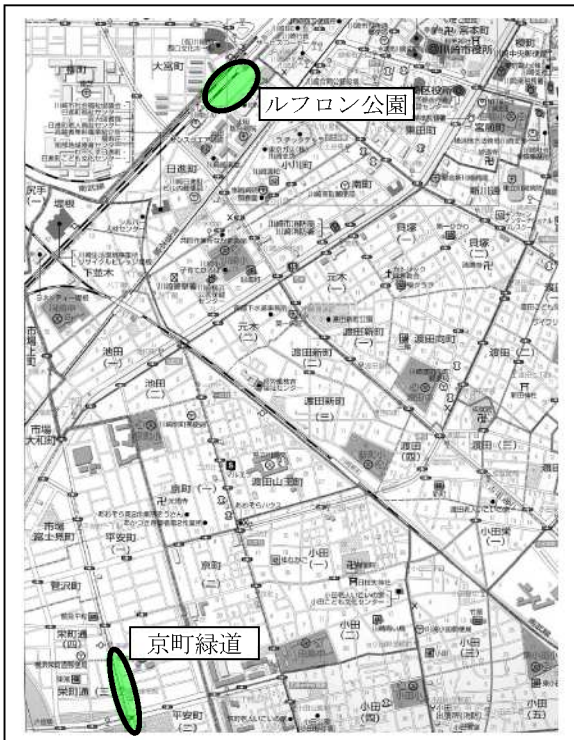
・川崎駅周辺はいつも自転車であふれている



・ラ・チッタデラの駐輪場

2 つくろう緑の憩いの場

アクション⑧ 緑の2大資源(ルフロン公園・京町緑道)を活かす



- ・ ルフロン公園、京町緑道を川崎西部地域の「緑の2大資源」と位置付ける。
- ・ 「緑の2大資源」を舞台とする住民の様々な活動の継続と発展に力を入れ、さらなる魅力アップに取り組む。
- ・ 「緑の2大資源」の利用度、知名度アップ運動を展開する。



・ 京町緑道

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●ルフロン公園

- ・ 緑多く、木陰が涼しい、心やすらぐ場所である。ゴミも少ない。
- ・ 緑のトンネルを森林浴できる駅地区の憩いの空間。
- ・ シイ・モクレン・モミジ・ヨントカシなど、豊富な樹種が見られる。
- ・ 夜間にライトアップすればさらに魅力的な空間になりそうだ。

●京町緑道

- ・ 緑が多く、桜の名所である。
- ・ セゾールのグリーンクラブが清掃活動を行っている。
- ・ 所々に休憩スペースがあり、ランニングや散歩に適した緑道である。
- ・ 犬の糞やゴミ、タバコが目立つ。
- ・ 悪臭がした箇所があった。
- ・ 植込みが整備不良な部分がある。木が繁りすぎて虫が大量発生していたり、雑草や枯木が多く見られた。
- ・ ベンチが破損した箇所もあった。



・ 駅のすぐそばの憩いの空間であるルフロン公園



・ 京町緑道の破損したベンチ

2 つくろう緑の憩いの場

アクション⑨ 地域公園の魅力アップ運動を展開する

- ・ 地域公園の利用率アップを目指し、地元住民による環境の改善や魅力アップにむけての運動を展開する。
- ・ 地域公園の愛護活動に対する資金や物品（花の苗や、清掃用具など）の支援強化を要望する。
- ・ 理想的な地域公園の環境を地域住民で考えるワークショップを開催する。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

●貝塚児童公園

- ・ 毎月1回清掃、草取りを実施している比較的きれいな公園である。
- ・ フェンスに破損箇所があった。

●上並木公園

- ・ 個人ボランティアが整備した大変立派な花壇がある。

●京町第3公園

- ・ 大木の木陰により全体が暗い雰囲気だ。樹木の剪定が必要である。
- ・ 花壇や池が欲しい。

●池田町公園

- ・ 花壇が多くきれいで、ゴミも少ない。
- ・ 公園周辺の駐車が見通しを悪くしていて、交通面でも治安面でも危険である。

●京町公園

- ・ 遊具が多い。
- ・ 学校の横という環境から子どもが多く利用している。
- ・ 植込みの中などにゴミが散乱していた。
- ・ 地元の要望により、遊具が新しくなった。

●セソール公園

- ・ 清掃が行き届いている。
- ・ 文化的にも意味の深い場所。
- ・ 樹木の種類が豊富。



・ 上並木公園の花壇



・ ゴミが集積放置されていた京町第3公園

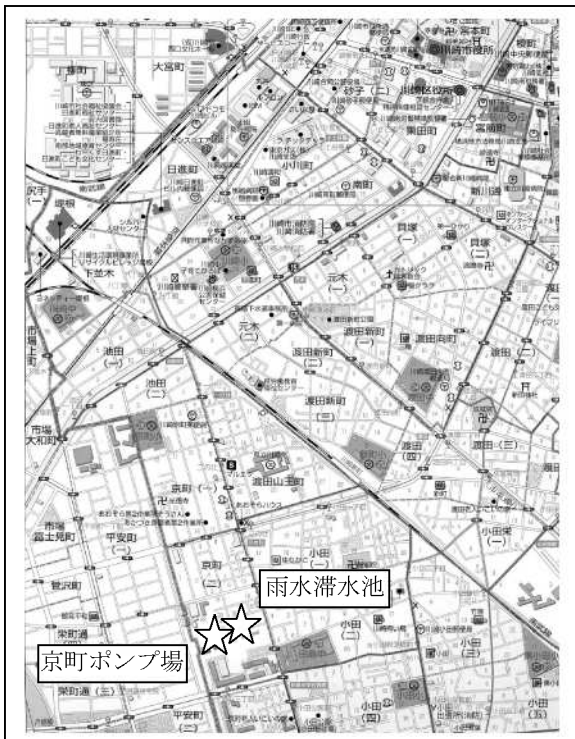


・ ベンチの裏にゴミが散乱（京町公園）

2 つくろう緑の憩いの場

アクション⑩ 地域内の空地进行を有効活用する

- ・京町雨水滞水池、京町ポンプ場などの地域内空地进行を有効活用する。



【まちづくりクラブの活動から出された
課題や意見】

●京町雨水滞水池

- ・遊び場、ゲートボール場として良好であり、地域住民に活用されている。
- ・地域のイベント会場などとして活用できないか。
- ・もう少し整地したい。

●京町ポンプ場

- ・いつも門がしまっている。有効利用したい。
- ・無制限に常時開放すると放置ゴミなどの問題が発生する恐れがある。
- ・地元住民による鍵の管理や、時間枠を決めた開放、イベントなどの際の特別開放など、管理者である下水道事業団に要望し、話し合いを進める。



・いつも門がしまっている京町ポンプ場



・京町雨水滞水池

③ 川崎西部魅力アップ

アクション⑪ 東海道川崎宿の歴史を活かす

- ・ 東海道川崎宿の歴史やその資源を地域づくり、地域おこしに活用する。
- ・ 東海道川崎宿の歴史をまちづくりに活かす活動を展開している「東海道川崎宿2023」との連携・交流をはかる。
- ・ 建替え中の「日進町町内会館」の施設を東海道川崎宿のガイド拠点などとして活用する。
- ・ 「八丁畷歴史散歩道の設定」など地域の歴史を掘り起こし、その魅力を広める活動を展開する。

【川崎西部地域内にある東海道川崎宿に関連する歴史資源】

●芭蕉の句碑

- ・ 芭蕉が当地で詠んだという句の貴重な句碑。
- ・ 地元住民による清掃管理が行われている。

●無縁塚

- ・ 江戸時代、宿外れに埋葬された多くの身元不明の遺骨（無縁仏）を供養した塔

●教安寺

- ・ 山門や梵鐘、徳本上人六字名号碑、永井白鷗の螺鈿の襖絵など貴重な歴史資源がある

●川崎宿京口跡（馬嶋病院前）

- ・ 川崎宿の宿場町の京都側の入口があった場所。
- ・ 現在は解説板のみが建っている。



・ 芭蕉の句碑



・ 無縁塚



・ 教安寺

③ 川崎西部魅力アップ

アクション⑫ 川崎西部・地域自慢を掘り起こす

- ・ 各自治会ごとの地域自慢を掘り起こし、紹介する。川崎西部地域の魅力をより多くの地域住民に知ってもらい、住んでいることに誇りが持てる地域愛を育てる。
- ・ 地域自慢は人物・歴史・店・物・場所などの分野を設けて公募し、記録としてまとめる。分野別ベスト10などのコンテスト形式など紹介の仕方も工夫する。

【地域自慢の一例】

●カリン並木（下並木）

- ・ 毎年 10 月ごろに大きな香りのよい実が沢山なる特色のある並木。

●川崎能楽堂（日進町）

- ・ おちついた雰囲気のある文化施設。

●元木町町内会館（元木町）

- ・ 歴史あるお稲荷様もあり落ち着いた雰囲気のある町内会館。

●堂本せんべい

- ・ “大師巻き” “花見せんべい” などが有名な、匂いでわかるまちの名物店！

●久松浴場

- ・ 牛乳風呂のある銭湯。

●ドコモビル

- ・ 新たなランドマーク。

●貝塚町のお神輿

- ・ 川崎区内でも有数の大きさを誇るお神輿。

●坂本九生家跡（南町）

- ・ 昭和の大スター、坂本九の生家。

などなど



・ カリン並木のカリンの実



・ 川崎能楽堂



・ 堂本せんべい

③ 川崎西部魅力アップ

アクション⑬ 川崎西部地域PRキャンペーンを行う

- ・ 川崎西部地域のアイデンティティや特徴を表すロゴやキャラクターを作成し、地域イベントや地域活動に活用する。
- ・ 川崎西部地域住民が一堂に会するイベントを開催する。地域住民中心で、企画運営し、地域の結束を高める。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

- ・ どんな目的で、誰に対しPRをしていくのか、目的を明確にしながら進める必要がある。
- ・ ロゴやキャラクター作成の際は、公募でデザインやアイデアを広く募集したい。地域内の小中学校にも参加してもらいたい。



- ・ まちづくりクラブのロゴの例（大師第1 & 大師第2）



- ・ 川崎西部を象徴するシンボルや特色は何だろう？

4 共に支えあう地域づくり

アクション⑭ 川崎西部地域便利マップをつくる

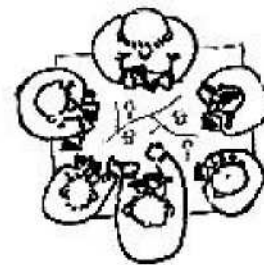
- ・ 地域の生活に役立つ「川崎西部便利マップ」を作成・配布する。
- ・ 住民参加で作成を進め、地域の個性や特色の表現された地図づくりを目指す。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

- ・ 「川崎西部地域便利マップ」には医療施設（鍼灸接骨や動物病院含む）やスポーツ施設、町内会館など、これまでの地図にはまとめて掲載されることが少なかったが生活に役立つ情報が掲載されるとよい。
- ・ 住民参加で進め、地図作成の目的やねらいについて話し合いながら進めることが、より多くの住民にとって「便利」なマップづくりにつながる。
- ・ 中学生もぜひ「川崎西部地域便利マップ」作成に参加したい。



- ・ 小田地域で住民参加で作成された「小田地域健康マップ」



4 共に支えあう地域づくり

アクション⑮ 支えあいのネットワークをつくる

地域住民同士、同じ地域の一員として支えあう仕組みづくりを進め、誰もが住みやすい地域をつくる。

- ・ 高齢者・障害者などを支えるネットワークをつくる
- ・ 子どもにとってよりよい地域環境をつくる
- ・ その他、地域の交流を深める活動や、交通・福祉・環境・ペットなど地域の問題・課題に対する住民活動のネットワーク化を進める

【既存のネットワークや活動の一例】

- ・ 交通安全母の会で交通安全運動に参加、指導している。
- ・ 子育て支援母親クラブ、ポテトクラブを毎月町会で開催している。
- ・ 高齢者の誕生会が年4回あり、親睦を深めている。
- ・ 団地内の手作り花壇活動がある。団地内にうるおいを持たせ、不法駐輪対策も兼ねている。
- ・ 毎年8月に夏祭りを開催し、町内の交流親睦をはかっている。
- ・ 高齢者を対象としたミニデイサービスを月1回、京町と合同で開催している。
- ・ 川崎山王祭に参加している。青年会・子ども会・婦人部それぞれの神輿があり、夜店等多彩な催し物をしている。
- ・ 団地内のペットも飼育ルールを定め、認めている。ペットクラブがある。野良猫の地域管理にも取り組んでいる。
- ・ 月水金に高齢者向けにサロンを実施しているほか、昼食会や講演会も開催している。
- ・ 学校・PTA・地域の三者一体で子どもの健全育成をはかる教育ネットワーク組織がある。

4 共に支えあう地域づくり

アクション①⑥ 地域モラルを高め、市民意識を育てる

地域住民のモラルを高める。地域の活動や課題解決に積極的に取り組む、市民意識の高い住民を育てる。

- ・ ワンナイトシェルターの建設、運営に際し、治安と環境の保護を行政に要望する。
- ・ ホームレスの自立問題の解決に行政と協働で取り組む。
- ・ ゴミのポイ捨て禁止条例の徹底や、行政に路上禁煙条例の制定を要望するなど、地域の環境を地域で守る気風を高める。地域のモラルアップに取り組む。
- ・ その他地域の活動や課題解決に積極的に取り組み、市民意識の高い住民を育てる機会を増やす。特に地域の将来を担う若い世代が参加、話し合える場を多くつくる。例えば地域ウォッチングや地域の未来を語るフォーラムなどを開催する。

【まちづくりクラブの活動から出された課題や意見】

- ・ 川崎には約 1000 人のホームレスがいると言われるが、そのうちの約 3 割は健康な体を持ち、働きたいと考えている。この人たちへの自立支援、就労対策を行うことが、ホームレスの数を減らし、地域の環境の改善することにつながる。



4 共に支えあう地域づくり

アクション⑱ 防犯・防災で安全・安心な地域をつくる

犯罪・災害につよい、安全・安心な地域づくりを進める

- ・ 地域による防災活動を推進し、災害に強い地域づくりを進める。
- ・ 地域による防災・防犯パトロール（見回り活動）を強化し、犯罪を未然に防ぎ、放火されない地域づくりを進める。



地域の防災活動の写真など

3. 未来像実現へむけて

1) 大切にしよう！ 未来の主演 子どもたちの声と参加

「こんな川崎西部地域にしたい」という4つのビジョンとを実現していくための17のプロジェクト。これらの実行の上で大切にしていきたいのは、地域の未来を担う子どもたちです。

彼らが大人になる頃の川崎西部地域がどうなっているのか？今より少しでも住みやすい地域にしていくことは、現在の大人世代の使命といえますが、その上では次の世代である子どもたちの声や視点を取り入れ、彼らの参加を大切にしながら進めていくことが重要です。

今回、この「川崎西部まちづくりアクションプラン」の作成過程においては、多くの地元小学生、中学生の子どもたちが参加してくれました。

～子どもたちの声～

①タウンウォッチング【平成15年9月6日（土）実施】から

- ・ 道がゴミだらけ。自転車が止まったりして歩きづらい。(川崎小5年)
- ・ 川崎ルフロンの前に不法駐輪が多かった。ハローガーデン川崎もきれいになっているのに、自転車で見えず、もったいない。(川崎小6年)
- ・ ポイ捨てや放置自転車がが多い。5年生の時にポイ捨てをやめさせるためにポスターを貼ったり、ゴミを拾ったりしたのにまだよごれがあつて残念でした。(川崎小6年)
- ・ 堤根の踏切をくぐる人が多い。(京町小4年)
- ・ 京町商店街のバス通り、入口のところがデコボコ。(京町小4年)
- ・ 池田町公園はゴミは全然落ちてなく、すごくきれいだった。(京町小5年)
- ・ 公園周辺の路上駐車は、車がきているのがわからないから危ない。(京町小6年)
- ・ ポイ捨てやタバコを捨てるのを、これからは注意する側になりたいと思います。(京町小6年)
- ・ 植えこみにゴミを捨てる人がいて困る。「ゴミ箱を作ったらいい」と会長さんに言ったら、一般ゴミを入れて一杯になってしまうからほかの考えを出さなきゃいけないと言われた(京町小6年)



・ 残暑の日陽射しの強い日の中、頑張ってくれた子どもたち

～こどもたちの声～

②川崎西部まちづくりフォーラム【平成16年1月31日（土）実施】から

- ・ ペットを飼っている人は、糞を持って帰って欲しい。京町緑道は緑が多くてよいが、犬の糞やゴミなどがある。
- ・ 公園に一人では怖くて行けない。便利マップのところに安全な場所も掲載してほしい。
- ・ 川崎西部地域の「PRイベント」を開催したらよい。ぜひぜひ安全・安心なまちになってほしい。
- ・ 歩きタバコやポイ捨ての改善に目を向けてほしい。
- ・ 大人の発表を聞いて、私はもっと緑がいっぱいあった方が良くと思った。
- ・ 川崎中学校ではバリアフリーについて八丁畷駅周辺を調べたり、福祉について学習（老人いこいの家の訪問など）したりしている。八丁畷駅周辺は、身体の不自由な人には利用しにくい。改善されると住み良い町になる。
- ・ 公園の緑については、樹木だけではなく、もっとみんなが見てくれるような花、植物も植えてほしい。
- ・ もっと住みやすくするために、自分もがんばっていききたい。
- ・ 便利マップづくりに中学生も参加したい。
- ・ 中学生もまちの一員である。自分たちが住んでいるまちだから自分たちでつくっていききたい。なにかあれば中学生も協力していききたい。



・ 地域教育会議の活動である「こども会議」がポイ捨てや放置自転車の問題を考えた結果の報告



・ 「川崎地域便利マップづくり」には中学生も参加したいという心強い声も聞かれた

2) 実現へむけての体制づくり

1. 足元の身近な課題から着実に取り組み、実績を積み重ねていきます。

このアクションプランに示された地域の理想の将来像を、絵に描いた餅にしないためには、まちづくりの成果を着実に目に見える形で積み重ねていくことが大切です。実績を着実に積み上げていくことは、まちづくりに関わる人たちに勇気や元気を与え、実現の加速化にもつながります。そのためには要望型や提案型のまちづくり活動ばかりでなく、地域住民が、地域を活動の場として、実際に自らの身体を動かす、活動型のまちづくり活動に取り組んでいくことが大切です。

「川崎西部便利マップ」「地域公園の魅力アップ運動」「地域の歩道快適性のチェック」「川崎西部・地域自慢」など、地域の課題について、地道な足元の課題から着実に取り組んでいく中で、実績をあげ、まちづくりにはずみをつける。地域の魅力も再発見し、地域の結束も高めていく。そんな活動の普及に取り組みます。

2. 多様な住民、特に若い世代がまちづくりに参加できる仕組みをつくりま

地域に住む様々な世代や考え方、個性をもつ住民をより多く参加させる仕組みをつくりあげることにより、誰もが住みやすい川崎西部地域をつくりあげていきます。

高齢化社会の中で、高齢者の視点を意識することはもちろん、地域の将来を担う子どもたちを育てていくことを常に意識し、声や参加を取り入れる仕組みを重視します。

学校やPTAをはじめ、地域の様々な活動団体に積極的に呼びかけ、住民がやる気になる啓発の方法や参加の手法を工夫し、多様な地域の住民や団体が自分たちの参加しやすい方法でまちづくりに関われる仕組みづくりを進め、まちづくりに多様な仲間を増やします。

3. 行政や企業とのパートナーシップづくりを進めます。

このアクションプランで示されたいくつかのアクションの中には、「・・・を要望します。」というアクションがあります。「川崎駅のバリアフリー化」や「歩道環境を快適にするための歩道の拡幅」「八丁畷駅周辺の改善」などです。これらのアクションは川崎西部地域の都市基盤に関わる問題であり、その解決には莫大なお金がかかります。これらは地域の住民だけで解決できるものではなく、行政との協力が欠かせません。

行政の財政も逼迫している中、これらの問題の解決には、まず地元住民が改善への要望や意見、熱意をしっかりと行政に伝え、行政もこれにしっかりと答え、対話によって改善への道筋を探っていくことが大切です。

川崎西部まちづくりクラブでは、これまでもクラブの会合に、議題となる問題に関わる行政の担当職員を招いたり、地域の住民の意見をまとめた要望書を提出するなどの活動を行ってきました。今回のアクションプランづくりもこうした地域の声を行政に伝え

る活動の一環です。今後もまちづくりについて、行政と直接対話する機会を積極的に増やしていきます。

また、都市基盤に関わる以外の問題についても、行政や企業との協力体制を築くことで、改善への道が加速される問題がたくさんあります。

行政や企業としっかりとしたパートナーシップの関係を築き、お互いに協力してまちづくりを進めていく体制をつくっていきます。

4. まちづくりクラブがプロジェクトの進行管理を行います。

このアクションプランで示された川崎西部地域のビジョンと、その実現の為のアクションの全ては決して短期間で実現できるものではありません。10年、20年といった長期的な視野をもちながら、息の長い取組みを継続していくことが重要です。

成果がどこまで達したか、その時、その時でどんなプロジェクトに取り組むべきかを先だって考え、地域全体を視野に入れながら、作戦の進行管理をする役割を川崎西部まちづくりクラブが中心となり、地域の諸団体の協力を得ながら担っていきます。

4. 資料編

「まちづくりアクションプラン」策定までの経緯

1) 策定までの流れ（会合の記録）

日時	会場	会合の内容
H15.5.22（木）	下並木町内会館	・川崎西部地域地域「ミニ白書」作成にむけて討議を開始
6.24（火）	池田町町内会館	・各町会の良い所、悪い所を紹介しあった。
7.22（火）	貝塚町町内会館	・タウンウォッチングの実施準備
9.06（土）	京町小学校他	・川崎西部地域タウンウォッチングを実施
9.30（火）	元木町町内会館	・川崎西部地域タウンウォッチングのまとめ
10.20（月）	大竹ホール	・川崎西部まちづくりアクションプランの検討
11.25（火）	南町町内会館	
12.17（水）	セゾール京町	
H16.1.26（月）	サンスクエア川崎	・川崎西部まちづくりフォーラム開催準備
1.31（土）	京町小学校	・川崎西部まちづくりフォーラム開催
2.24（火）	京町1・2丁目町内会館	・川崎西部まちづくりフォーラムのまとめ ・川崎西部まちづくりアクションプランの検討
3.16（火）	下並木町内会館	・川崎西部まちづくりアクションプランのまとめ

2) 各町会の良いところ、悪いところ

平成15年6月～7月の川崎西部まちづくりクラブの会合において、各町会が自分の地域の良いところ、悪いところを互いに紹介しあった。以下はその時紹介された事柄を表にしたものである。

地域の良いところ（○）・悪いところ（×）

貝塚

交通関係	○	交通安全母の会及び理事で「新入学児童、春・秋交通安全運動」に積極的に参加し、指導している。
防災・安全	○	年1回貝塚児童公園にて消防訓練を行っている。
	×	消防訓練の参加者が少ない。
環境 (緑・ゴミ・ペット)	○	防火灯が蛍光灯から水銀灯に徐々に取り替えられ、夜間のまちの中が明るくなっている。
福祉(子育て・高齢者・障害者)	○	母親クラブ、ポテトクラブなどの活動を毎月1回町会で行っている。 高齢者の誕生会(年4回)を行い、親睦を深め、近隣の付き合いを大事にしている。
地域づきあい (まつり)	○	地元の人たち(特に老人会、子ども会員)が大勢盆踊り、まつりに参加し、盛大に開催されている。
自慢できるもの (人・ものなど)	○	貝塚町の会お神輿の大きさでは川崎区でもベスト10に入る。
		貝塚婦人会広報部による“ひまわり”が年5回発刊されており、現在通巻186号である。

サンスクウェア自治会

防災・安全	×	防災訓練を行っても参加者が少ない。消防署を呼ぶのに気が引ける。
環境 (緑・ゴミ・ペット)	○	手作りの花壇活動がある。団地内にうおいを持たせ、不法駐輪対策も兼ねている。この6月にも10㎡ほど新たに設置した。
	×	ペット問題が未解決である。野放し状態で良い対策が見つからない。
地域づきあい (まつり)	○	夏祭り・もちつき大会・新春ファミリーバーテンの三大イベントがある。団地内の懇親を深めている。
	×	自治会の協力者が次第に高齢化し、メンバーが固定化している。新しい若い人の参加が足りない。
自慢できるもの (人・もの)	○	川崎能楽堂が団地内にある。上品で落ち着いた雰囲気。 ルフロン公園はよく整備され、緑を楽しめる桜のトンネルがすばらしい。ライトアップすればさらに良いと思われる。
	×	駅前放置自転車対策活動の余波で、団地内への不法駐輪が増え始めた。
その他	×	駐輪内の不法占拠のバイク問題があり、10年解決していない。鶴見区長に陳情書を提出した。

日進町

交通関係	×	交通量が増えて、歩行者の横断に注意が必要になった。
環境	×	ゴミ集積場に、指定日以外の日にごみを出す人がいる。
地域づきあい	○	毎年8月に夏祭りを行い、町内の皆さんとの交流親睦を図っている。
自慢できるもの	○	「芭蕉の句碑保存会」の皆さんが毎月一定の日「芭蕉の碑」の清掃を行っている。

池田町内会

交通関係	○	国道15号線の拡幅によりバス路線が開通し、交通の便が良くなった。
	○	交通安全(春秋)週間に町内会、商楽会が積極的に取り組んでいる。 違法駐車ステッカーの貼布に協力している。
	×	国道15号線と池田浅田町線の交差点(浜川崎ガード下)で車の家屋への突入事故がここ半年急増している。 違法駐車が多い。特に国道の歩道に置く違法車が多い。 放置自転車が多い。 自転車の2人のりなど交通マナーが悪い。 八丁驛駅前のバス通りの整備が必要。 池田浅田町線の歩道が狭い上に斜面になっているので障害者の歩行が危険である。植え込みがさらに歩道を狭くしている。
	○	公園の清掃が行き届いている。一部の住民によるポイ捨てごみの清掃が毎日行われている。
	×	公園に生活保護を受けている老人が2～3名たむろして、お酒を飲み、片付けをしない。 タイヤ及び自転車の不法投棄がある。 車の窓から国道の植え込みへゴミ袋、タバコの吸いがら、缶のポイ捨てが多い。
	○	高齢者を対象としたミニデイサービスを、月1回京町と合同で行っている。
	○	川崎山王まつりに参加している。青年会・子ども会・婦人部がそれぞれ神輿をもっている。子ども神輿、山車盆踊り、夜店等多彩な催し物をしている。
地域づきあい (まつり)	×	マンションが急増しており、新住民が増えているが、旧住民との交流が乏しい。
	○	花壇づくりの花の苗に費用がかかり、助成金が少ない。
その他	○	

下並木

その他	×	住民が管理している駅前の花壇の近くに水道がない。
-----	---	--------------------------

セゾール自治会

交通関係	○	バス便が多く川崎駅まで便利。
		タクシーも池田浅田線多い。
	×	池田浅田線(京町通)、鶴見一富士見線(芦穂橋一京町)に違法駐車が多い。
		始発バスの時間 5:45 をもっと早くして欲しい。(羽田発の始発飛行機に乗れる時間)
		市役所、区役所方面に行くバス(地区横断路線)が僅少。路線 27 は新川橋通りを左折して、JR川崎駅に行ってしまう。
		大師までの便が悪い。
運転手のマナーが悪い。		
防災・安全	○	団地敷地内は、防犯カメラ・オートロック設備、24時間警備体制。周辺の道路幅も広く、消防車活動が容易。完璧に近い防災・防犯体制。
		セゾール前の道路(不二家～小田公園)が拡張されている。
		管理組合、自治会での活発な対応をしている。
		防災倉庫が設置された。
	×	京町緑道が暗く、不安全である。
		防災時の、寝たきり・障害者・高齢者の防災体制が調っていない。
環境 (緑・ゴミ・ペット)	○	27000㎡の敷地内は緑豊かで、せせらぎ池(人工)もある。
		周辺に公園が3ヶ所あり緑に恵まれている。京町緑道、日東緑道など散歩道もある。
	○	ペットも飼育ルールを定め認めている。野良猫の地域管理も実施している。
	×	緑道(京町・日東)に放置ゴミが多い。
		鶴見一富士見線の中央分離帯(グリーンベルト)の芝の手入れが悪く雑草に変化。
		公開空地を利用する近隣の人々の使い方が悪い。 鶴見富士見町線へのゴミ捨てが多い。
福祉 (子育て・高齢者・障害者)	○	福祉専門委員会があり、高齢者・障害者のための憩いの談話室を設けている。
		月水金にティーサービスを実施しているほか、昼食会の開催や子育て支援も実施している。
		福祉専門委員会所管で談話室が設置された。
		他高齢者社会参加支援として俳句の会、フラダンス、絵手紙を行っている。
		高齢者や子育て相談健康相談をやっている。
		マンション内のバリアフリー化、高齢者福祉への取り組みを行っている。
地域づきあい (まつり)	○	セゾールパークは公開空地であり、近隣住民の利用が多い。
		セゾールアリーナはコーラスやストレッチ等、近隣の人たちの活動にも利用されている。
		京町町内会の祭りの神輿に子どもが参加するなど、町会自治会の祭りなど相互招待している。
		もちつき大会がある。
	×	セゾール以外の地域の住民との付き合いは、ほとんど無い。
		町内会との横のつながりが少ないと思う。
自慢できるもの (人・もの)	○	京町小学校で、学校・PTA・地域の3者一体で子どもの健全な育成をはかる教育ネットワーク組織がある。(創立6年)
		バス便が盛んなところ。
		多彩な人材が豊富である。
その他	○	外国人へ日本語を教えるボランティアが6人、コーラスグループ2つ、キルト作り名人などがいる。
		まちづくりクラブに町会自治会長が参加している。
		管理組合自治会力が充実している。
	×	まちづくりクラブに若い人、女性の参加少ない。
		花だんに水道設置してほしい
		郵便局が付近にない。
		人材の活用が不十分である。
		高齢者のための体力増強施設、娯楽施設が少ない。

3. タウンウォッチングの記録

平成 15 年 9 月 6 日（土）京町小学校に集合し、地域の現場を歩いて課題や長所を現地調査するタウンウォッチングを開催した。

当日は天気にもめぐまれ、川崎小学校や京町小学校の児童も大勢参加し、地域の人も含め、総勢 100 名以上の参加があった。3 班に分かれて、メモやカメラを片手にそれぞれ別々な地域内の 2 コースを歩き、気付いた点を記録した。

終了後は再び京町小学校の特別活動室に集合し、互いのコースを歩いて気がついた点などを発表しあった。



・大勢の子どもたちも残暑のきつい陽射しの中がんばってくれました。



・地域内を周った後は、再び集まって各コースの結果を報告しあいました。



・気がついた事はその場で、地図にメモする。

4. 川崎西部まちづくりフォーラム

平成16年1月31日(土)、京町小学校にて「川崎西部まちづくりフォーラム」を開催しました。川崎西部まちづくりクラブのメンバーや地元の小中学生を含む約60人が参加し、川崎西部地域の理想の未来像とその実現に向けてのアクションについて話し合いました。



・第1部では川崎西部まちづくりクラブのメンバーより、「まちづくりアクションプラン」の案がプロジェクターを使って説明されました。



・第2部は会場全体での意見交換。中学生や小学生からもたくさんの意見が出ました。

【当日の意見交換、及び会場アンケートより】

- ・ゴミはしっかり持ち帰るか、ゴミ箱に入れて欲しい。
- ・京町緑道は緑が多くて良いが、犬の糞やゴミなどがある。
- ・風俗街も抱える地域であることを踏まえ、子どもにとって良い環境も重要なテーマとして考えていきたい。
- ・自分の通行場所に犬の糞尿が多く、歩行中避けなければならないので大変である。
- ・公園は土が多い方が、転倒しても小さな怪我ですむので良いと思う。
- ・便利マップのところに安全な場所も掲載して欲しい。
- ・それぞれの提案内容はとても良いが、相対的に高齢者向けの内容提案となっており、まちの活性化の視点から見てもっと若い世代の考えを取り入れるべきだ。
- ・川崎にはゴミのポイ捨て禁止条例があるが、実際は全く守られていない状況である。ゴミのポイ捨てやタバコの路上喫煙、吸殻のポイ捨てを地域で取り締まろう。
- ・歴史を活かすまちづくり、便利マップの作成は大賛成。積極的に取り組んでいただきたいと思う。
- ・「PRイベント」を開催したら良いと思う。ぜひ安全、安心な町になってほしい！
- ・ペットのマナーや予防接種(狂犬病など)をしっかり地域で行ってほしい。
- ・ルフロンなどのエスカレーターは便利だが車椅子の利用者には少々不便だと思う。他にも突っかかる所があるので、もっと利用しやすくした方が良いと思う。
- ・歩きタバコやポイ捨ての改善に目を向けて欲しい。
- ・セソール横のポンプ場はみんなが自由に遊べるので良いと思う。
- ・八丁噺の踏切は毎朝、通っているが、歩道の幅が狭く、しかもラッシュ時のため、大変である。住民のことを考えて、改善していただけないだろうか。
- ・川崎西部地域便利マップ作りに中学生も参加させて欲しい。

うるおいのあるまち川崎西部 まちづくりアクションプラン

平成 16 年 3 月

編集

川崎西部まちづくりクラブ

発行

川崎区区政推進課

編集・協力

地域総合研究所